

サケ稚魚の沿岸移動分布

福島県水産試験場 栽培漁業部
平成9～13年度さけ資源管理推進調査報告

1 部門名

水産業－栽培漁業－サケ
分類コード 19-05-29000000

2 担当者

佐々木恵一

3 要旨

本県沿岸におけるサケ稚魚の生態を明らかにするため、平成8年から平成14年の間、毎年3月から5月にかけて、県北部新地町沖の距岸1～5海里にそれぞれ調査定線を設け、サヨリ船曳網を用いてサケ稚魚の分布調査を行った。漁獲したサケ稚魚は尾叉長、体重の測定および胃内容物の査定を行い、以下のことが明らかになった。

- (1) 月別の漁獲尾数から、福島県沿岸のサケ稚魚の北上時期は、概ね4月がピークと考えられた。また表面水温が6℃～16℃の広い水温帯で分布を確認したが、10℃前後から漁獲尾数が多くなる傾向があった。
- (2) 胃内容物では橈脚類、端脚類、ヤムシ類、魚類等が多かったが、橈脚類は3月～4月、端脚類は4月～5月に多く摂餌している傾向が見られた。魚体の大きさによる餌の選択性は、特に確認できなかった。
- (3) 漁獲したサケ稚魚の尾叉長は、調査日が同じであれば沿岸側に近いほど、小さくなる傾向が見られた。
- (4) サケ稚魚以外の混獲魚種はアイナメ、イカナゴ、ボラなどの稚魚で、そのうちアイナメ稚魚は特に多く、サケ稚魚との餌料競合の可能性が考えられた。

4 その他の資料等

なし